
詩の欠片

綺羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩の欠片

【Nコード】

N6897Y

【作者名】

綺羅

【あらすじ】

中学・高校と書いたものを載せる予定です。

『詩極』と言うサイトに投稿していたものも混じっています。

読んでくれる方の心に響くものがあればいいと思っています。

罫（前書き）

罫詩っぽいものと流血っぽいものがあります。

タイトルの横に【罫】・【血】を見つけたら回避行動をお願いします。

あくまでも私の目安ですがお気をつけください。

ついでに【数・数】と言うのもタイトルの横にあります。左側のがノートに書いたときの数で、右側のは全編で何編目かを表しています。

雫

雫 【闇】 60・420

一つ 雫が落ちました
二つ 涙がこぼれました
三つ 夢が消えました
四つ 貴方が去りました
五つ 光が消えました

これから私は何に向かって歩けばいいの？
これから私は何を希望に進めばいいの？
私はどうしたらいいの？

どん底に落ちたなら
這い上がっていけばいい
分かっているけど
私の頭は動かない
分かっているのに
私の心は動かない

一つ 雫が落ちました
二つ 涙がこぼれました
三つ 夢が消えました
四つ 貴方が去りました
五つ 光が消えました

平（後書き）

『詩極』に投稿した事があるものです。

どこが闇詩なの？っていうのは聞かないでください。

陽炎（前書き）

六冊目のノートで『詩極』に載せたもの。

陽炎

陽炎 130・653

時は陽炎

目に見えず 触れることは叶わない
過去の時が染み込んだ物が在るだけ
それだけだ
解ったなんて口だけだ

歴史は陽炎

何も言わぬ 解釈なんて意味なきこと
語っているが語っていない
未来はすぐに過去になる
全てはその手に委ねている

道は陽炎

揺らいでいる 貴方が通った足跡あとだから
否定されても消え去らない
過去を消し去ることはできない
同じことを繰り返さないようにするだけさ

全ては陽炎

見えていても 記憶に残っているからと
存在していたというには物足りない
存在していなかったというにも物足りない

この世の全ては陽炎のよう

陽炎（後書き）

授業中に書いていました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6897y/>

詩の欠片

2011年11月21日10時44分発行